

News Release



本資料は、2011年3月25日にドイツで発表されたリリースの翻訳版です。

2011年3月28日

BASF、コグニス社との統合計画を発表

- ▶ シナジー効果により EBIT は 2 億 7,500 万ユーロ拡大
- ▶ 1 回限りの統合費用は 2 億 9,000 万ユーロを予定
- ▶ 欧州地域のパーソナル・ケア事業部拠点はドイツ、モンハイムに設置

お問い合わせ：
BASF ジャパン株式会社

水谷あゆみ
TEL: 090-5756-2939

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はこのほど、2010年12月に買収を完了したコグニス社との統合計画を発表しました。BASFはこの統合を通じ、EBITが2億7,500万ユーロ(コグニス社2009年度売上高の10.6%)増加すると予想しています。この内訳はシナジー効果により2015年までに達成予定の1億3,500万ユーロのEBIT増加、ならびに2013年末までに達成予定の約1億4,000万ユーロのコスト削減です。

BASFは、目標を達成するため、主にケア・ケミカルズ部門において世界で230名の雇用を新たに創出すると同時に機能や管理部門の重複解消、および効率改善に向けた施策のため680名の雇用を削減します。これによりBASFグループで450名の雇用を削減、その大半を2012年末までに実施する予定です。対象となる従業員には可能な限りBASF内において適切な雇用を提供します。

2010/2011年に発生する1億2,000万ユーロの在庫拡大を除き、BASFは2013年末までの1回限りの統合費用を約2億9,000万ユーロと予想しています。また、統合による財務的な影響については、買収から2年以内の2012年時点でプラスに転じると予想しています。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階

BASF の取締役会のメンバーであり、高機能製品部門とコグニス社統合を担当するジョン・フェルドマンは、「高機能製品部門には収益の成長に大きな可能性がある」とみています。今回の買収を通じ、パーソナルおよびホーム・ケア、栄養と健康、コーティング添加剤の synlubes、および鉱業用化学品など成長市場での活動を強化しました。両社の事業は優れた補完関係にあり、再生可能なものと石油ベースの両化学分野からの製品とソリューションによる、包括的なポートフォリオをお客様に提供できるようになりました」と述べています。

BASF のコグニス社担当グローバルインテグレーションマネージャーであるマイケル・ハインツは、「過去数カ月にわたり、両社の共同統合チームは成長分野を特定すると共に、コスト面でのシナジー効果を明確にし、BASF グループへのコグニス社統合を成功させるための計画を構築してきました。今後はお客様と会社への価値をさらに高めるため、これらの方策を実行に移します。組織面では、2011 年末までに組織的統合の大半を完了することを目指します」と述べています。

成長のシナジー効果は 1 億 3,500 万ユーロ

成長に向けた方策を通じ、2015 年までに約 1 億 3,500 万ユーロの EBIT 増加を目指しています。これには、拡大した顧客ベース、強化されたソリューションとイノベーション能力ならびに各地域に設置する統合事業の活用が含まれます。

コスト面でのシナジー効果は 1 億 4,000 万ユーロ

コスト削減におけるシナジー効果は、2013 年末までに約 1 億 4,000 万ユーロ(コグニス社の 2009 年度純売上高の 5.4%)に達する見込みです。この分野での主な貢献要因は、調達活動の統合、管理部門の統合、生産効率改善、および IT 分野での統合です。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階

デュッセルドルフ地域での将来的な拠点展開とコンセプト

BASF は 28 か所のコグニス社の生産拠点のうち 26 か所を維持する予定です。英国のハイス工場は売却します。ノルウェーのトロムソーについては、戦略的選択肢を検討中です。コグニス社の 37 か所ある非生産拠点のうち、26 か所は BASF の既存拠点と統合または売却し、9 か所は現状を維持、2 か所については現在検討中です。

BASF 欧州地域事業部のパーソナル・ケア部門は、ドイツ、モンハイムにあるコグニス旧本社に設置します。コグニス社の最大生産拠点であるデュッセルドルフ - ホルトハウゼンは、ケア・ケミカルズ部門のグローバル生産ネットワークにおける主要拠点のひとつとなります。また、同拠点は、パーソナル・ケア関連のグローバル開発センターおよび BASF のコーポレート研究部門の一部として再生可能成分を中心とする重要な基盤となります。

「BASF は、お客様のニーズに引き続き注力すると共に、統合プロセスによるいかなる事業の混乱も発生しないことを最大の優先課題としています。この統合に伴う手続きやシステム変更の期間中、お客様満足度を高い水準に維持するため、お客様との密接な協力の下にすでにさまざまな方策を開始しています」とフェルドマンは述べています。

BASF はコグニス社買収計画を 2010 年 6 月に発表し、2010 年 12 月に買収を完了しました。株式の購入価格は 7 億ユーロでした。金融債務と年金債務を含め、この買収の企業価値は 31 億ユーロでした。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、「ザ・ケミカル・カンパニー (The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASF は信頼に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2010 年の売上は約 639 億ユーロで、従業員数は約 10 万 9,000 人です。BASF の詳しい情報は、www.basf.com (英語)、newsroom.basf.com (英語)、www.japan.basf.com (日本語) をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都港区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー 21 階